

## 伝承と進化～めぐり逢いのふしぎに手をあわせよう～

私が部会長に就任して2年目に突入し、思えば1年目が伝承の時間であったとするならば、2年目は進化の時間です。任期が一期2年という事で、1年目は、新役員も多かったため、青年部会の事業活動や歴史を伝承する事と結束をさらに深めることを目標に活動してきました。お陰様で部会員も115名(7月1日現在)となり、今後さらに盛り上がる会にしていく為に全力で邁進していきます。今当部会のメンバーは、多くの経験を有す優秀な面々で過去最高と言えるくらい揃っております。ですから、そのメンバーと語り合うだけの為に参加しても楽しいのです。是非参加して自身で体感してください。さて、2年目の今年は進化の年です。1年目の経験から、部会員全員が成長し、輝ける事業を構築していきますので、宜しくお願い

いたします。ちなみに、事業を構築してくれるのは私ではなく、優秀な各委員長を筆頭に構成される各委員会メンバーです。さらには、のほほんとしている私のお目付け役、中村副部会長を筆頭に、委員会のご意見番である各副部会長が会を引き締めてくれます。今年度は、新しい事業を多く進めていきます。来年、四国高知で開催される全国青年の集い租税教育プレゼンテーションで、最優秀賞をとるための租税教育事業活動、良き経営者を育成するための事業として年間を通して連続ドラマ的な経営研修事業、地域の事を深く知り理解することで、更なる地域貢献が可能となる地域研修事業、対外的なアピールをSNSやHPや「互版せいねんぶ」を使い、積極的にPRをする広報事業。部会員全員が参加できる全体会議で

は、各地域での移動会議も開催し、意見交換や事業PRの場として活用する。これらをスムーズに運営するために、親睦会や懇親会を開催する交流事業。これらの事業を通じて進化した青年部会を築き上げるには、部会員全員が参加し、楽しむことが必要です。その進化はきっと皆さんの事業の発展にもつながると信じています。今この時間を楽しみ、多くの仲間が笑顔で自然と集まる魅力ある青年部会を目指し、一人一人が参加して、良かったと実感できる青年部会を創り上げていきましょう。  
青年部会長 林 大介



## 大人も子供も成長する租税教室



平成26年から携わるようになった租税教室、今年で3年目を迎え、これまで延べ7校、23クラスの児童の皆様に向けて開催してきました。児童数にすると860名もの児童の皆様と、税についての勉強をする機会をもつことができました。租税教室の目的は、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の一員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、納税者と

して社会や国の在り方を、主体的に考える自覚を育てることとされています。一番最初に携わった租税教室は、105名の児童の皆様がいる体育館でした。講師と補助役の2名だけでちょっぴり不安な気持ちで、それを子どもたちに悟られないように、必死にやってきました。準備をしっかりしたはずなのに、シナリオをしっかり読み込んだはずなのに、反省点で一杯でした。今一緒に租税教室の講師を務めて頂いている皆様から、ご指摘を一杯頂きそうな、完全シナリオ見ての、掲示物を出すタイミングも、今から比べたら「ちょっと間が悪いね」なんて言われそうな、緊張して、それでも何とか初めての租税教室やり遂げました!

いった経験をさせて頂きました。その時の児童の皆様からは、アンケートで、税金について勉強になったとか、楽しかったという感想を頂くことができ、このプログラムの完成度の高さに救われて、最初の租税教室はなんとか終えることができました。それから3年の月日が経ち、毎年恒例となりつつある現在の租税教室は、より洗練されて、子どもたちの気持ちを如何に上手に掴んで、租税教室の授業に入り込んでもらうかを念頭に置いて、実際に講師や補助役の皆様が一所懸命練習会に参加して、各自ご自宅でも練習をして本番に臨んで頂いています。練習会の時以上に輝いて講師をしている姿を見ると、自宅で相当練習されている事が伝わってきます。講師として教壇に立つ自分の租税教室を、如何に充実した、子どもたちも楽しんでもらえるものができるか考えて取り組んでいるの

だと思います。私が、一番最初の租税教室から携わらせて頂き感じる事は、このプログラムは、子どもたちだけに学びがあるのではなく、この活動により、講師や補助役として

携わった大人も、同時に成長させてくれるということです。内容は、決まったプログラムですが、その進め方に、子どもの気持ち、人の気持ちを掴む学びが有るのだと思いま

す。共に学び合える仲間と、より良い租税教室活動とするために、また次回もしっかりと取り組んで行きたいと思えます。  
租税教育委員長 伊藤 由樹

## 事業報告会

H28年 5/17

平成28年5月17日(火)ホテル ラポール 千寿閣において、「平成27年度青年部会事業報告会」を開催致しました。林大介部会長となってから初めての事業の総括となり、また、新年度に向けての新たなスタートでもあります。当日は多くのメンバーが参加し、昨年度実施した事業や決算の報告を行い、林部会長の提唱するスローガン「進化と伝承」の元、様々な事業を精力的に活動した結果を報告することができました。また、平成28年度の事業計画を発表し、100名を超えたメンバーとともに更なる事業展開を

していくことを誓いました。引き続き開催した懇親会では、多くの関係諸団体のご来賓にもご臨席賜り、新たなスタートに向けての第一歩を踏み出しました。終始和やかな雰囲気での懇親会でしたが、団体を超えたさらなる交流の輪が広がった素晴らしいものでした。また、併せて3月末で青年部会を卒業となった4名の卒業式を行い、林部会長より感謝状と記念品を贈呈し、卒業生からは、



これからの青年部のメンバーに向けたエールが送られました。  
総務委員長 市村 努

## 《卒業生からの一言》



「青年部会では多年にわたり活動を通じて様々な経験をさせて頂きました。改めて御礼申し上げます。そして、部会長という貴重な経験もさせて頂き、今後の人生経験において有意義な日々を頂き、感謝の念に耐えられません。今後も青年部会の益々の発展することを願っております。長い間誠にありがとうございました。  
福本 寿



長い間、大変お世話になり有難うございました。わたしが相模原に越えて来て20年が経ちますが、公の会としては、初めて多くの友人が出来た団体でした。本当は、もう青年ではないけれど、青年部会に幸有れ!  
中本 太衛



年間の活動を通じて実感したことは、法人会青年部会は地域貢献の場、人脈作りの場、そして様々な知識を得る事が出来る学びの場でありました! 今後の地域を活性、未来を創造させて行くのは強靱な地元経営者集団だと思います! 更なる発展をお祈り申し上げます。  
名取 政子



私が入会させていただいたきっかけは、仕事仲間の「法人会青年部は楽しいよ!入ったら?」の一言でした。それが平成25年5月のことでした。参加してみると「なるほど!!」各部会や全体での会議、催し物へ積極的に全員が一体となり物事に取り組む姿に感銘致しました。ですが、その後私も公私共に忙しさが増えてきてしまい、残念ですが参加することが少なくなってしまいました。50歳が定年とのことなので、短い間でしたが、貴重な経験をありがとうございました。最後になりますが、青年部会の皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍を心より祈念いたします。  
大河原 達

## 県連連絡協議会セミナーで他会とも交流

H28年 3/4



3月4日、箱根吉池旅館にて、県連連絡協議会セミナーが開催されました。「人の心を開く技術」の演題でノンフィクション作家、小松成美氏の特別講演会が開催されました。自身の経験から人との関わり方やコミュニケーション力について、自ら関わった著名人取材などの具体例を織り交ぜ情熱的な語り口調で会場を沸かせました。その後の大懇親会では小松氏も参加い

ただき、県下18単会総勢211名の参加で盛会でした。相模原からは12名が参加し交流を深めました。また、二次会三次会では県内の青年部会と交流も出来とても充実した事業でした。県連事業は他の青年部会とも交流でき輪を広げるチャンスですので来年は更に多くの部会員の参加をお待ちしています。  
部会長 林 大介



## 旧津久井地区の再発見に驚き

H28年 3/28

平成28年3月28日「おもしろカレッジ」を開催いたしました。今回は「緑区であそぼう」と題しまして、津久井・城山の歴史を城山地区研究会会長 山口清氏にご講演いただき、相模湖プレジャーフォレストでBBQとイルミネーションを体験するという内容でした。天気が不安定の中、お子様含め25名の参加となりました。



初めに、津久井湖畔から屋形船に乗船し、津久井湖の歴史をご教授いただきながら、桜が咲き始めた城山を眺め、城山公園へ移動し、津久井城山城の跡地で津久井城山城の歴史を勉強いたしました。津久井に住んでいる私でも初めての体験で、津久井を再発見することができて感激いたしました。

BBQで食事をした後、遊園地・温泉そしてイルミネーションをご堪能された方や、お子様とお時間を満喫された方など様々な形で満喫していただきました。雨にも降られず、無事に終えることができほっといたしました。私の不手際で、園内を迷子になり30分ほどさまよった方には大変申し訳ございませんでした。相模湖プレジャーフォレスト

の広さを実感いただけたかと思えます。今回の「おもしろカレッジ」で体験したことは、津久井に住んでいる私でも新鮮でとても面白いものでした。「津久井でもっとおもしろくできる」そんな事が考えられる貴重な経験ができました。

地域社会研修委員長  
尾崎 勲

## 相模原と町田法人会 青年部会がゴルフで交流

H28年 3/15

平成28年3月15日、相武カントリー倶楽部で、第1回相模原・町田法人会青年部親睦ゴルフコンペを開催致しました。当日はゴルフ日和で、相模原からは、林

大介部会長をはじめ12名が参加し、町田からは、田中健祐部会長をはじめ18名の部会員が参加し、合計8組30名の大会となりました。

相武カントリーは自然地形を活かした戦略的なレイアウトを擁する反面、比較的平坦でフェアウェイも広く設計されているため、上級者から初心者までプレーを楽しむことができ、所属する法人会の垣根を越えて親しく交流しました。

ラウンド後に開かれたパーティーでも、各々のプレーを振り返り談笑するなど、メンバー間で親交が温められました。また表彰式では、相模原の畑野雅之部会員が見事優勝を飾りました。また、今回の盛会を受け、参加者の総意で第2回大会の開催が決定されました。

租税教育委員会副委員長  
岡田 耕次郎



## その悩み…一緒に解決しましょう（経営研修会）

あなたは、経営の悩みをどう解決しますか？ 弁護士に相談？ 両親などの先輩経営者に相談？ 社内の右腕となる人財に？ 社員に？ それとも、友人や家族に愚痴って終わりですか？

解決の仕方は様々ありますし、業種によっても、企業規模によっても、経営者一人ひとりの悩みは違いますが、私は根本を探

れば悩みのルーツは同じだと考えています。

それはすなわち「ヒト」に関する悩みです。法人会青年部会は、様々な異業種の集まりです。あなたの業界や会社では、解決不可能だと認識されていたり、当然の習慣だと思われていたり、でも少し異業種を覗くと、まったく自分たちと異なる文化が存在したり、果敢にその課題に挑戦している

経営者がいます。

経営研修委員会では、「ヒト」に関する様々な問題点を、経営者目線で「認識」し、「共有」し、「解決へ向けて一歩踏み出す」までのプロセスを、年間通じて表現してまいります。全てのカリキュラム必見です！ご期待ください！

経営研修委員長 小池 重憲

## 経営研修会その① 青年部会座談会

H28年 1/20

平成28年6月14日(火)にユニコムプラザさがみはらにて、経営研修委員会による「～その悩み、解決の糸口が見つかるか?～」をテーマにした青年部会座談会を開催いたしました。

30名の参加者が集まり、会員の皆さんの関心の高さを感じました。経営研修委員会小池重憲委員長をファシリテーターとして、経営者の様々な悩みについて解決に向けそれぞれ思うところを話し合いました。



それぞれ6チームに分かれ、一人ひとりが今抱えている悩みについて抽出し、チー

ム内で解決案を出していくというワークで、「みんな同じような悩みを抱えている」という共感から、扱う商品や業種の違いから発生する違う視点での意見など、積極的な意見が飛び交い、ここで出たアイデアを早速実行してみようという参加者の声も多くなりました。

一人で思い悩んだ解決の糸口はわずかだけれど、皆で考えるとたくさんの解決の糸口が見つかる。一人の力などちっぽけなものなのだとことを実感した座談会となりました。

経営研修委員 若林 美佳

## 互版せいねんぶ 編集部員後記

青年部会員のちょっとしたリフレッシュ法や趣味などを紹介します♪

### ～編集部員・清仁先輩の独り言～

最近になって始めたスポーツがある。それは「ゴルフ」です。今まで散々周りの人達もやっていたが、ゴルフは神経質で四角四面な感じに見えていて数回打ちっぱなしに行ってはみたものの、どうしても面白さが解らず、その後は見も触れもしなかったスポーツの一つでした。そんな私は、最近の運動不足を感じて、軽い運動になるような事としてゴルフを再検討し、少くも練習してみました。そして、初コースは知人と一緒に知り合いのゴルフ場へ！すると…あれ？ 何だか…楽しいぞ？ スコアは酷い事になっているのに、楽しい～♪ これはスポーツハイキングか～！ 普段ではあまり感じられない広々とした緑の中、楽しめる人達とのラウン



ド。シシガミとの遭遇(笑)どの年齢でもどんな職業の人とも出来る年齢層等が幅広いスポーツ。(多分8割位の人が出来るのでは…)楽しみ方は人それぞれで決められるスポーツ。私の場合は、アメリカ人のように楽しくハイキングラウンド♪ (ちなみに、アメリカ等では日本人みたいにクラブや道具にお金かける人のほうが少ないらしいです)そして何よりも誰かと「戦う・競い合う」

ではなくて、完全に「自分でどういうスポーツか決める？」なものにはノーベル平和賞なスポーツですね(笑)

- G・・・GREEN (緑)
- O・・・OXYGEN (酸素)
- L・・・LIGHT (太陽の下で)
- F・・・FOOTBALL (足でするゲーム)
- GOLFって、良い言葉ですね♪ちょっと調べちゃいました(笑)

やっぱり、どんな事も始まりが楽しいとその後も楽しくなるものですね♪やった事の無い人は是非一度、楽しくハイキングラウンドが出来るとゴルフ場へ行ってみる事をオススメします。アメリカ人的発想なハイキングラウンドなら私同様、楽しくなってしまうかも♪ (^-^)

公益・広報委員会 副委員長  
佐藤 清仁